

公民連携による地域まちづくりの支援について

地域まちづくりに対する民間資金活用による支援の一つとして、昨年度クラウドファンディングを活用した公民連携による地域まちづくりの支援提案をテーマ型共創フロント※で募集したところ、複数事業者から公民連携の提案がありました。

今年度クラウドファンディングによる支援の試行に向けた検討を進めています。

※テーマ型共創フロントとは、横浜市から民間の皆様へテーマを示し、そのテーマに対する公民連携事業の提案やアイデア等を募集する仕組みです。

1 地域まちづくりの課題と方向性

○ヨコハマ市民まち普請事業の助成金は、厳しい予算状況から、多くの提案があっても年間 3 件までの支援に限っています。

○まち普請等の助成金だけでは金額や年数の上限があるため、団体の目標とする整備内容に達しない場合が生じており、資金調達が課題となっています。

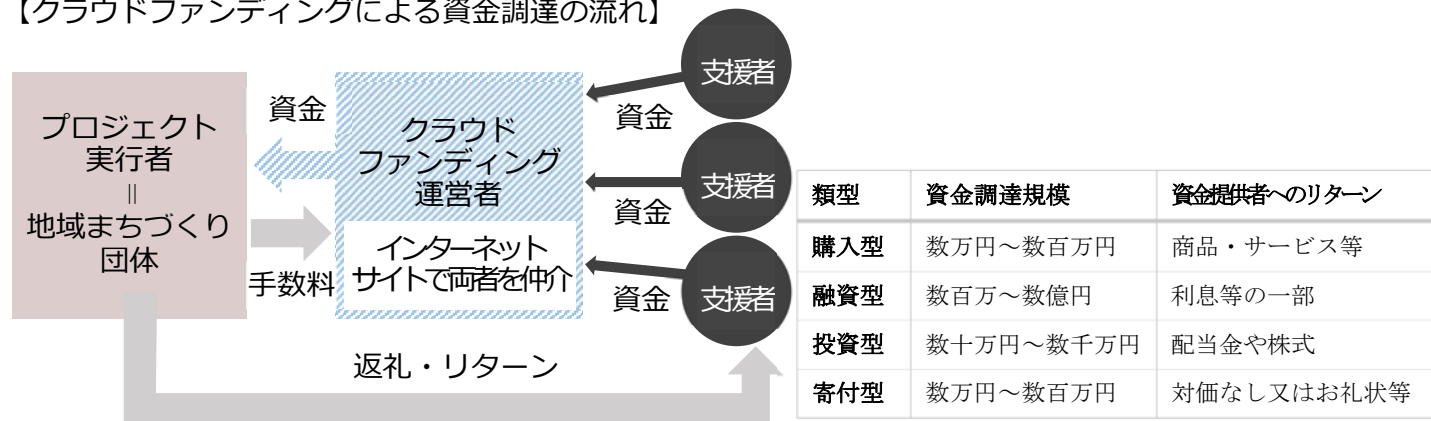
○整備後の運営段階において、運営資金の獲得が課題となっています。

このような現状を踏まえ、ヨコハマ市民まち普請事業などで盛り上がったまちづくりの気運をより一層高めるため、市民が自ら資金調達できるように支援する方策を検討しています。

2 クラウドファンディングとは

クラウドファンディング（以下 CF）とは、Crowd（人々、一般大衆）と Funding（資金調達）を合わせた造語で、個人や企業、その他の機関が、インターネットを介してアイデアやプロジェクトを紹介し、それに共感し、賛同する一般の人から広く資金を集める仕組みのことをいいます。

【クラウドファンディングによる資金調達の流れ】



3 クラウドファンディングを活用した地域まちづくり支援の提案募集（共創フロント）の概要

(1) 募集期間 平成 29 年 12 月 28 日から平成 30 年 2 月 28 日まで公募

(2) 対象

ヨコハマ市民まち普請事業及びエリアマネジメントに関係したまちづくり団体の資金調達において、クラウドファンディングを活用した支援策の提案及び連携事業者※を募集

※連携事業者は、クラウドファンディングサイト運営会社とコンサルティング会社を想定

(3) 提案の募集条件

○地域のまちづくりへの支援に関心があり、地域の課題解決を目指して、横浜市及びまちづくり団体と一緒に資金調達方法等を検討し、適切な助言や協力をしていただける事業者

○横浜市の一般財源による予算措置なし（必要な費用は、全て提案者側が負担）

○提案者選定無（法令違反等の確認は別途行っていきます）